

令和6年4月25日



担当課	都市再生課
担当者	三宅
電話	(073) 435-1048
内線	2990

和歌の浦魅力向上施設の名称候補が決定 ～ 和歌の浦1300年に向けて～

1 名称候補 「和歌の浦 あしべ庵」

令和6年1月25日(木)から2月20日(火)までの期間で公募し、202人の方から373作品の応募がありました。3月25日(月)に名称検討委員会を開催し、名称候補の検討を行いました。

名称検討委員会では、「山部赤人の和歌にうたわれ、和歌の浦の象徴的な言葉の1つ「あしべ」が入っている」、「簡潔かつひらがな表記で外国人にもわかりやすい」といった意見が出されました。名称検討委員会において、本施設の名称として「和歌の浦 あしべ庵」が最もふさわしいと評価されたことから、同作品を名称候補として決定し、市議会に付議することとします。



完成イメージ

2 応募者の名称候補作品の意味・理由

万葉集の代表的な歌人の一人山部赤人の有名な和歌である「若の浦に潮満ち来れば潟をなみ葦辺をさして鶴鳴き渡る」の風景を目の当たりに見ることができる場所に位置している。

3 施設名称の決定

本施設の設置に係る条例の議決を経て施設の名称として決定します。なお、施設名称に選ばれた作品の応募者に感謝状を贈呈します。

4 開館予定

万葉歌人・山部赤人が和歌の浦を歌に詠んだ724年から1300年の節目を迎えるにあたり、令和6年10月に開催予定の「和歌の聖地・和歌の浦 誕生千三百年記念大祭」に合わせ、9月の開館を目指します。

また、本施設の庭園には奠供山への山道を整備しており、奠供山山頂からは聖武天皇が行幸された際に「この美しい景観を守りなさい。」と命じたとされる和歌の浦の風景を見渡すことができます。